

卒業のことば

卒業生代表 小玉和樹

厳しかった冬の寒さも和らぎ、春の日差しが心地よくなってきた今日、私たち 178 名はこの佼成学園を卒業します。本日は私たちのためにこのような素晴らしい式を開いて頂き、ありがとうございます。

さかのぼること 3 年、私たちは心をワクワクさせながら佼成学園の門をくぐりました。スポーツをするために来た者、勉強をするために来た者、一人ひとりがそれぞれの目的を持ってのぞんでいました。入学式で初めて会う仲間。最初はうまくやっけていけるか不安な気持ちでいっぱいでした。そんな仲間と過ごした 3 年間はあっという間に過ぎていきましたが、その内容はすごく濃いもので、今でも鮮明によみがえってきます。

高校 1 年生の時は、新鮮な驚きの連続でした。内容の濃い授業、中学校の時よりかなりレベルが上がった部活動、学校全体で作り上げる文化祭、クラスが一つになり勝利を目指す球技大会、約 10 km を走るマラソン大会。ふと気がつくとながら最初に抱いていた不安は消え、充実した時を過ごしていました。

先輩方、仲間と仲良くなり、学校生活に慣れ始めた 2 年生。2 年生では二つの大きなイベントがありました。一つ目は、沖縄修学旅行です。全員が待ち望んでいた沖縄は期待を裏切らない素晴らしい場所、そして暑さでした。

しかし忘れてはならないのは約 70 年前に戦地であったこと。そして元ひめゆり学徒隊の方のお話を聞き、自分の目で見て体験し学ぶことです。ここで学んだことは、必ず後に伝えていかなければならないと思いました。

そして、修学旅行の夜、仲間との宿泊というものは楽しく、皆で遅くまで起き、語り合い眠くなったらシャワーを浴びて体を起こすというのをやっていたのは大人になっても笑いながら話せるいい思い出です。

そして二つ目は文化祭です。生徒会が中心となり初めてころみた前夜祭。ビンゴ大会や動画などで盛り上がったことを覚えています。当日は初めて出す模擬店で売り方、作り方に苦戦しましたが、クラスの絆が深まった気がしました。

その頃アメリカンフットボール部は全国大会ベスト 4 という素晴らしい結果を残していました。同じグラウンドで練習をしている先輩方、仲間たちに感動させられ刺激を受けました。それと同時に負けてられないなという気持ちも芽生えました。

最高学年になり、周りは受験という最大の難関に向けて進み始めました。その中で私たち野球部は練習に励み都大会準優勝、関東大会ベスト 8 という結果を残すことができました。

生徒会を中心に署名をしてくれ、勉強が忙しい中、学年全体で応援にきてくれました。その試合で競り勝つことができたのは仲間の応援があったからこそだと今も思っています。

夏を越え、全員が部活を引退し、本格的に受験モードとなりました。級友たちが一生懸命勉強に取り組み努力している姿がかっこよかったです。私は大学にいかせてもらうのですが、より一層練習に力が入りました。

スポーツも受験も勝負は時の運という部分もあります。結果は良かった人もいれば、あまりよくなかった人もいます。しかし、一つの目標に向かって努力したことは変わらない事実です。その努力は今後の私たちの糧となり、さらに私たちを大きく成長させてくれるものとなると思います。

私は1年間野球部のキャプテンを務めてまいりました。その中で困難や苦労様々なことにつかってきました。キャプテンを辞めたいとおもったことも何度もあります。

しかしこうして1年間やりとげられたのは仲間そして家族の存在がありました。辛い時、苦しい時に何気ない仲間の一言で救われました。私は一人じゃない。そう感じさせてくれました。

頼りなかったと思うし、キャプテンらしいことはしていないけれど最後までついてきてくれて本当に感謝してる。本当にありがとう。

そして両親。私は寮生活をしていますが、よりよい生活をするために足りないものがないか常に気にかけてくれました。休日には球場まで足を運んでくれて、一番近くで応援してくれ私の心の支えでした。3年間やり切れたのは両親の存在があったからこそです。この場をかりて、お礼を言わせてください。ありがとうございました。

在校生の皆さん、これから卒業までに必ず何度か壁にぶつかると思います。その壁は一人では乗り越えられないような高い壁かもしれません。

しかし、いま横にいる仲間、そして周りにいらっしゃる先生方すべてを頼ってください。必ず全力で力のかしてくれと思います。心から頼れる、そして助けてくれる仲間、先生方がいるのを忘れないでください。行学二道という校訓を胸に抱き、何事にも全力でチャレンジしてください。この佼成学園の素晴らしい活躍を耳にすることを期待しています。

そして私たちは寂しい気持ちを抱きながら今日、卒業します。

3年間過ごした仲間との別れです。寂しいですが、心は必ずつながっています。辛い時苦しい時は皆で集まって騒いで忘れましょう。新たなスタートに戸惑いや不安もありますが、私らしく迷わず突き進みたいと思います。

最後になりますが、私たちの佼成学園での生活を支えてくださった数多くの方々、そしてここにいる178名の最高の仲間に出会えたことに心から感謝して卒業の言葉といたします。